

# 新型コロナウイルス感染症の 感染状況と今後の対応について

# 墨田区の検査陽性者の状況

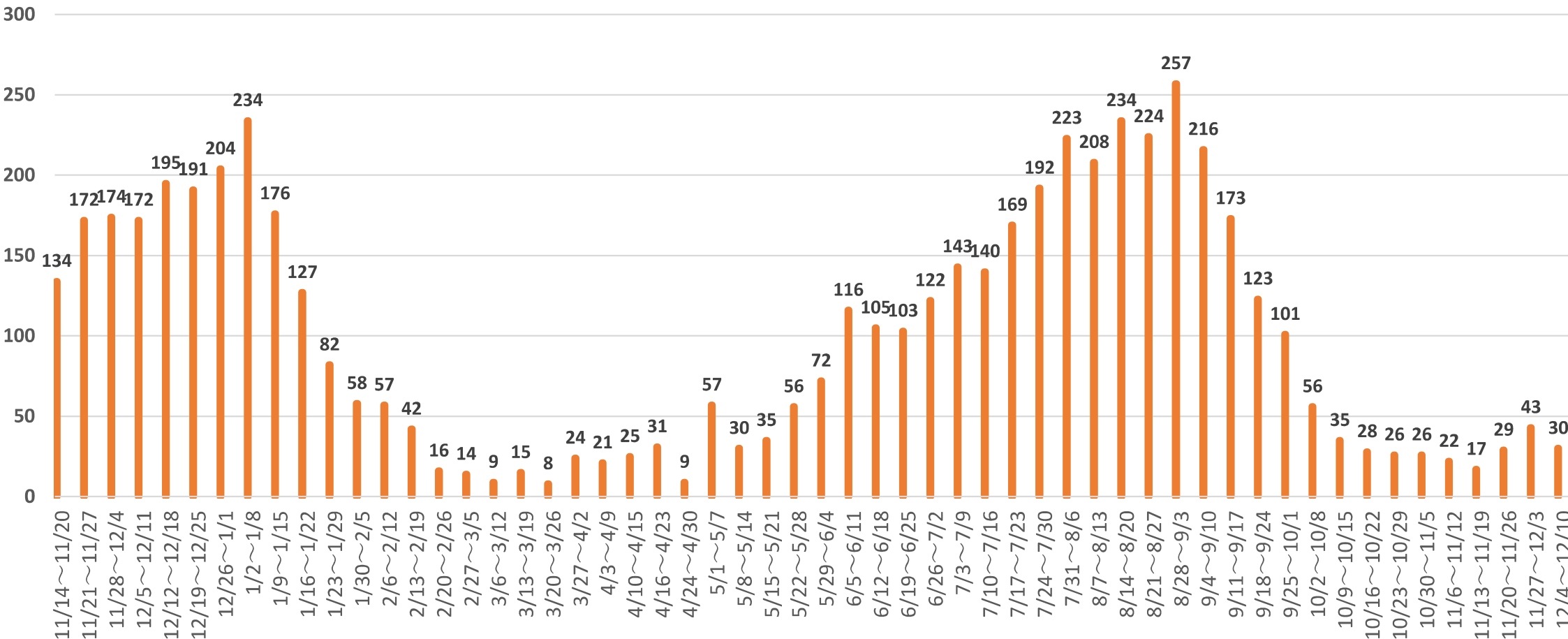
(令和5年12月11日0時現在)

	現在 12/4~12/10	現在 11/27~12/3
COVID-19定点報告者数 (7日間)	30人	43人

# COVID-19定点報告者数（12月11日時点）

◆ 1週間の定点報告者数は30人で前週比0.7倍。

## コロナ定点医療機関の週別報告数



※5/7まではHER-SYSの日時報告を基に作成

# 墨田区管内の年齢群別に見た 新型コロナウイルス感染者数の動向（2週間）

	12/4～12/10	11/27～12/3	前週比
0歳～9歳	1	1	1.0
10歳～19歳	0	2	0.0
20歳～29歳	7	11	0.64
30歳～39歳	4	11	0.36
40歳～49歳	3	5	0.6
50歳～59歳	3	4	0.75
60歳～69歳	4	6	0.67
70歳～79歳	4	1	4.0
80歳以上	4	2	2.0
計	30	43	0.7

# 高齢者施設感染症情報収集システム概要

- ▶ 高齢者施設において、毎日、症状、疾患診断別の人数をWeb入力。
- ▶ 入力情報は保健所、所管課、施設が提携する医療機関で参照、感染症の発生状況に関係者間で共有。

リアルタイムに情報共有→早期に対策



新型コロナウイルス 高齢者施設、感染状況を共有 墨田区、独自にシステム導入 早期把握、対応に生かす / 東京

地域 | 東京

毎日新聞 | 2023/7/7 地方版 有料記事 1198文字



新型コロナウイルスの5類移行で感染状況の把握が難しくなっていることを受け、墨田区は高齢者施設での感染症の発生状況を共有するシステムを独自に導入した。入所者の発熱などを確認した場合、人数や病名を入力してもらい即座に保健所などと情報を共有する仕組み。システムを開発した大東文化大の栗田順子講師（公衆衛生看護）は「5類移行後こそ、早期探知、早期対応が流行を抑え、死者を減らすことにつながる」と話している。【秋丸生帆】

毎日新聞 <https://mainichi.jp/articles/20230707/dtl/k13/040/010000c>

首都圏 NEWS WEB

首都圏の最新記事 | 首都圏トップ

新型コロナ 墨田区 高齢者施設の感染 早期把握システム導入

07/13日 17時04分

首都圏 特設サイト  
新型コロナウイルス

NNK 首都圏ナビ

鉄道運行情報

全国のニュース

小田急線無差別斬撃事件 報告に懲役19年の判決 東京地裁 15時06分

高崎線「君たちはどう生きるか」緑に包まれた新作が公開 15時13分

「イブニング」表紙誌 藤野野矢 けいじん 12時28分

新型コロナウイルスの5類への移行で、感染状況の細かい把握が難しくなるなか、重症化リスクの高い高齢者施設の感染状況を早期に把握するシステムを墨田区保健所が独自に導入しました。

墨田区保健所が導入したのは「高齢者施設感染症情報収集システム」で、先月から本格的に運用されています。特に重症化リスクの高い高齢者施設について、早めに感染拡大の兆候をつかみ、クラスターの発生を未然に防ぐことが狙いです。

システムは、区内の11の高齢者施設とつながっていて、各施設には入所者や職員のうち新型コロナなどの感染症と診断された人や、発熱やせきなどの症状があった人の数を毎日入力してもらいます。

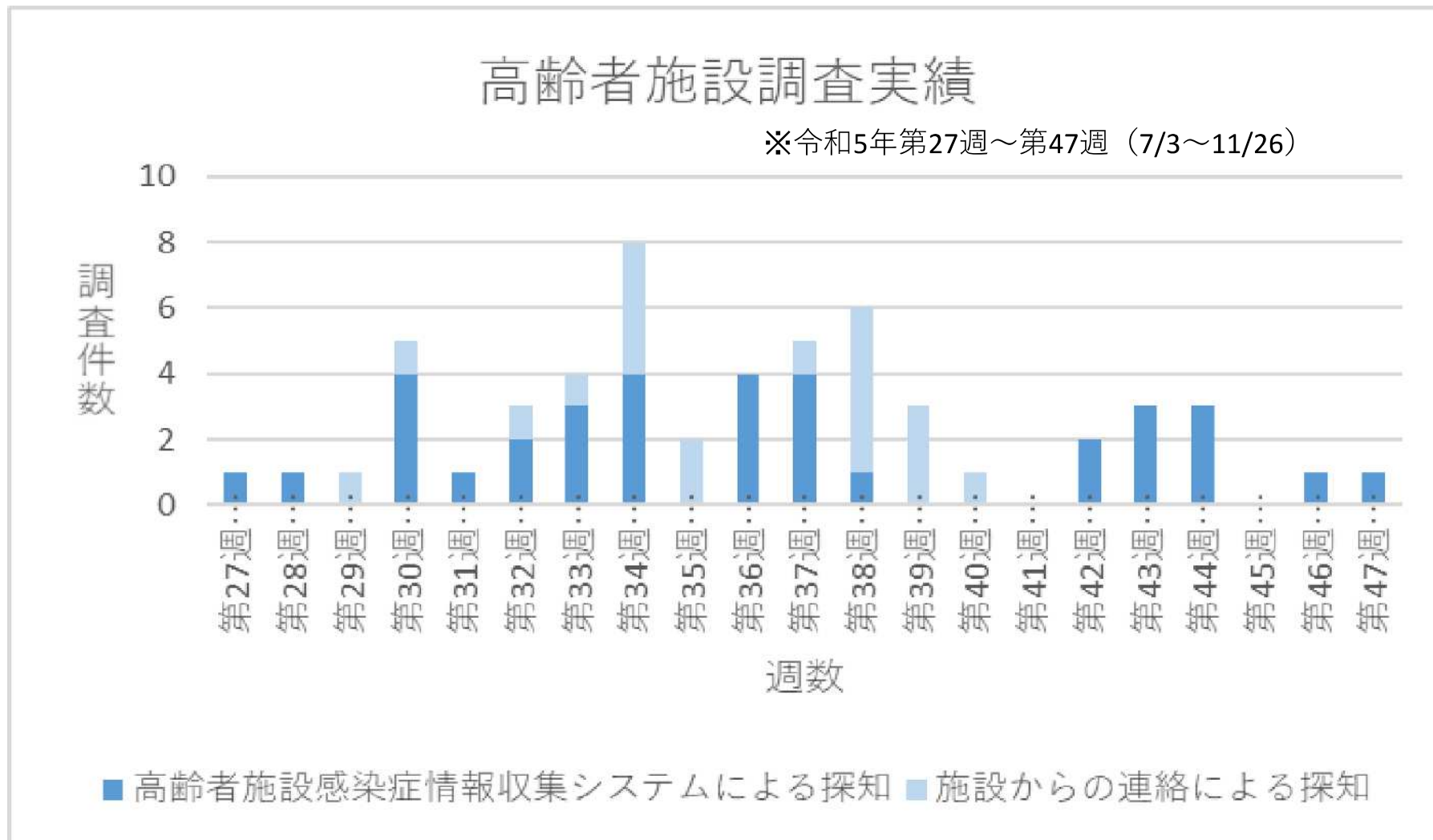
その結果、保健所がいち早く状況を把握して、感染拡大防止に向けた指導や職員への

NHK <https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20230713/1000094773.html>

## 高齢者施設感染症情報収集システムによる施設調査実績（墨田区内）

※令和5年12月1日現在 特別養護老人ホームを中心に区内14施設で導入

※新型コロナウイルス感染症の報告基準変更後も、システム活用により兆候を早期に探知し対応を行っている。



# 墨田区における今後の新型コロナウイルス感染症対応について

## 今年度末までの対策

対策内容	実施体制	実施期間
発熱相談センター（コールセンター）	平日（9時から17時）	令和6年3月31日まで
後遺症相談（コールセンター）		
酸素濃縮器の借上	必要時に随時対応	
新型コロナウイルスワクチン	生後6カ月以上を対象に集団接種と個別接種	
高齢者・障害者（児）施設のPCR検査費用助成	施設からの申請に基づく支払い（施設職員・入所者への定期検査費用）	
薬局における抗原検査キットの無料配布	47薬局で配布（10月までは42薬局） 年末年始も特定の薬局で配布を実施	令和6年1月31日まで ※
高齢者施設等への対応	高齢者施設感染症情報システムによる早期探知	当面の間継続
入院調整	病病連携・病診連携による調整	
行政検査	検査必要時に随時対応	

※ 抗原検査キットの使用期限が令和6年2月末までのため

## 住民への注意喚起等の目安について

都内の外来状況において「**外来ひっ迫あり**」割合が**25%を超える時**、区民・医療機関に対する注意喚起を行う。

### （1）SNS等を活用した定期的な注意喚起

- 軽症時や検査のための救急受診を控えることの周知、薬局での抗原検査キット無料配布の周知と利用勧奨
- 体調不良時に外出を控える期間の周知、受診や外出を迷う場合に「発熱相談センター」の利用を周知
- マスク着用、換気、手洗いなどの基本的な感染対策の周知

### （2）医療体制確保のため医師会等との連携の継続

- 医師会事務連絡会、病院部会等を通じ、患者の発生状況や医療の状況を共有し、適宜、助言等を行う。